

ぐんまの  
道づくり

# 群馬の道づくり

平成18年度  
達成度報告書  
(アウトカムレポート)  
平成19年度  
業績計画書  
(アウトカムプラン)

達成だるまの紙芝居



群馬県道路協議会



達磨作りが盛んな群馬  
県高崎市よりやってきた  
達成だるまが「群馬の道  
づくり」をチェック！

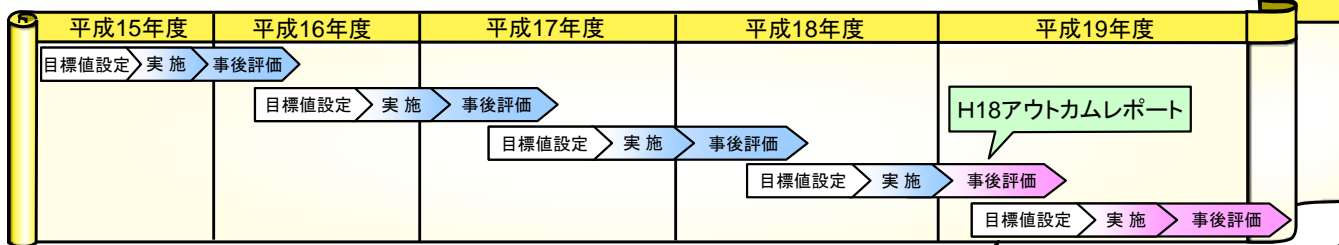
達成だるま

# 群馬の道づくり

## ■H18達成度報告書(アウトカムレポート)H19業績計画書(アウトカムプラン)の策定について

### ◇新たな道路行政への転換

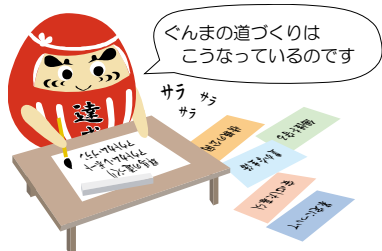
道路行政では、他の行政分野、公共事業分野に先駆けて、成果主義の行政マネジメントを推進しています。群馬県においても、平成15年度より、目指すべき成果を事前に宣言した「ぐんまの道づくりアウトカムプラン」を発表し、成果主義の道路マネジメントを開始しています。今年はその5巡目です。



## ■政策方針と成果指標の設定

### ◇4つの方針と指標の選定

「平成19年アウトカムプラン」では、「平成18年アウトカムレポート」をふまえて群馬県の道路行政が目指すべき成果を示す指標として、施策の特性に応じた10指標を設定し、4つの施策方針(政策課題)に応じた分類としています。



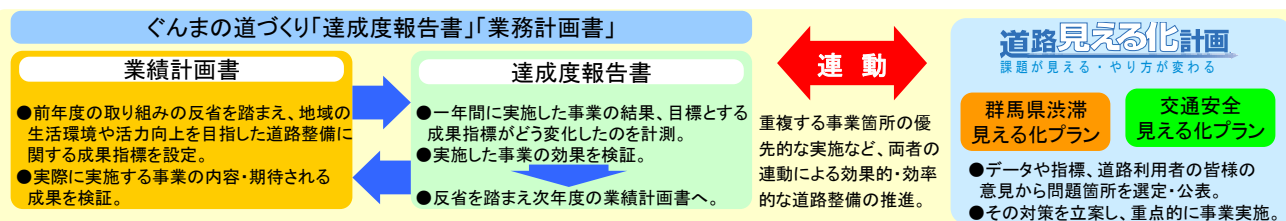
事業の実施による成果指標値の改善状況の把握・検証と課題の整理：  
「平成18年度達成度報告書(アウトカムレポート)」

平成19年度の群馬県の道路行政への取組：  
「平成19年度業績計画書(アウトカムプラン)」

## ■「ぐんまの道づくりアウトカムレポート・プラン」と「道路見える化計画」との連動

### ◇「道路見える化計画」とは

国や地方の財政が逼迫する中で、これからの行政は限られた予算で効率よくサービスを提供していかなければなりません。そこで群馬県内の各道路管理者では、道路の課題をデータできちんと把握し、その最適な解決策を見だし、解決を急ぐべきところから対策を講じていくため、「道路見える化計画」を推進していきます。



今年度は  
ここです

# 群馬の道づくり

## 交通事故の削減



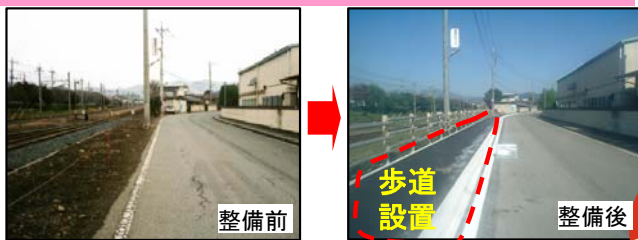
### ◇あんしん歩行エリアの整備(箇所)

歩行者や自転車が安全に通行できるよう緊急に対策すべき16箇所の「安全歩行エリア」について、歩行空間や信号機、交差点改良や歩行者・自転車を優先するゾーン形成等の対策を進めています。

**事業継続中**  
**H18目標** : 未着手2箇所でも事業着手し、事業を継続  
**H18実績** : 未着手1箇所でも事業着手。(16箇所中、着手箇所15箇所)

**H19** : 残り未着手1箇所でも事業着手し、  
**目標** 死傷事故件数の2割削減を目指す

対策事例:  
車道及び路側帯の改善  
(高崎市東町地区)



### ◇事故危険箇所への対策推進(箇所)

交差点改良、照明や標識設置、歩道の整備などの安全対策を施し事故危険箇所への対策推進を図ります。

**事業継続中**  
**H18目標** : エリア内での死傷事故件数3割削減 (H17実績: 174箇所中165箇所着手)  
**H18実績** : 継続的に事業を実施

**H19** : エリア内での死傷事故件数3割  
**目標** 削減に向けて事業継続中



対策事例: 路面への「追突注意」の表示 (国道254号甘楽町)



### ◇死傷事故率の減少(件/億台km)

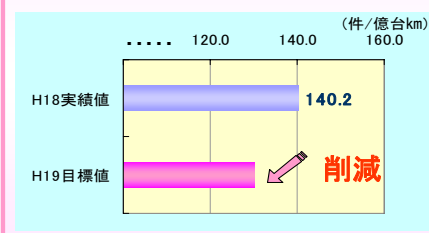
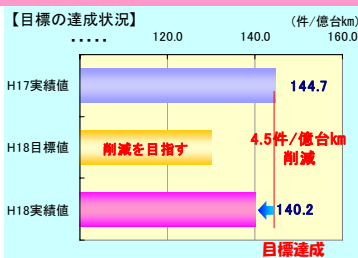
死傷事故率「万台の自動車が行った1万km走行した場合に発生する死傷事故の割合」の減少を図ります。

**H18目標** : 死傷事故率の削減を目指す (H17実績: 144.7件/億台km<sup>注</sup>)  
**H18実績** : 140.2件/億台km

**H19** : さらに死傷事故率の削減を目指す  
**目標**

あんしん歩行エリアや事故危険箇所の整備を進めた結果、17年度より**4.5件/億台km死傷事故率が削減**されました。

(注)H17実績値は、確定値144.7件/億台kmを記載。H18年度業績計画書のH17実績値は、速報値142.3件/億台kmを記載。



## 医療・福祉の向上

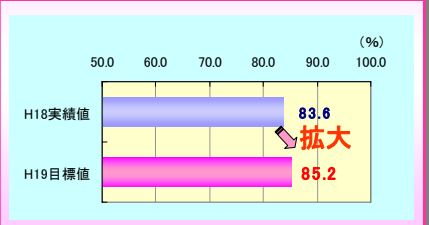
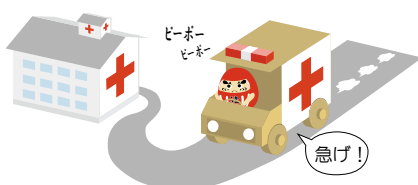
### ◇総合病院30分到達圏域の拡大(%)

道路ネットワーク整備の効果として、医療設備の整った総合病院までの所要時間が30分以内となるエリアの拡大を進めています。

**事業継続中**  
**H18目標** : 83.6% (H17実績: 83.6%)  
**H18実績** : 83.6%

**H19** : 群馬県地方道路整備計画に定めた最終年次の目標値 85.2%  
**目標** を目指し事業を継続

平成18年度には(一)苗ヶ島飯土井線、(一)林長野原線、(一)林東吾妻線の道路整備を進めましたが、新たに供用開始となった区間がなかったため、指標の変化はなく83.6%のままとなっています。



県民の暮らしを守り安心した暮らしを実現する道路整備

# 群馬の道づくり



## ■ 渋滞の解消

### ◇ 渋滞箇所への対策推進(箇所)

渋滞箇所(未整備箇所)への対策推進を成果とします。

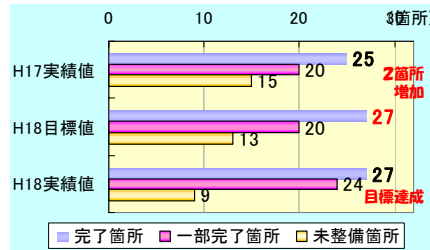


**H18目標** : 新たに完了2箇所(H17実績: 完了25, 一部完了20, 未整備15)

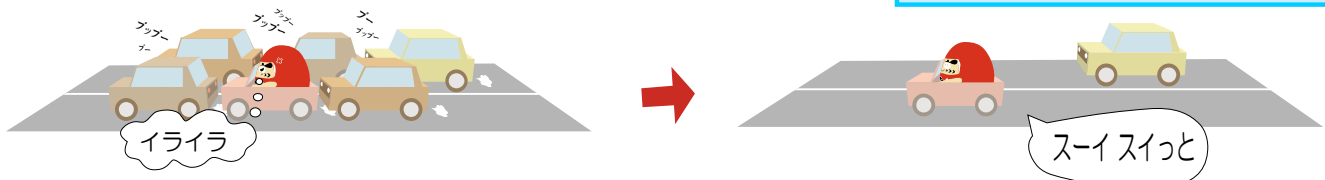
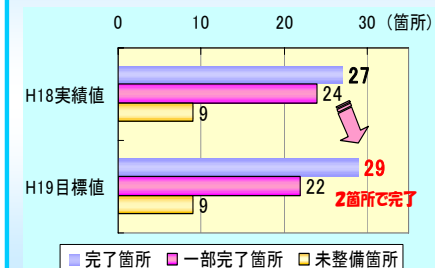
**H18実績** : 完了箇所を2箇所追加、一部完了を4箇所追加

H18年度では、以下の**主要渋滞ポイント2箇所**の整備が完了しました。

- ・ 藤阿久交差点
- ・ 小相木交差点



**H19** : 新たに2箇所追加へ向けた対策推進目標



### ◇ 渋滞損失時間の削減(万時間/年)

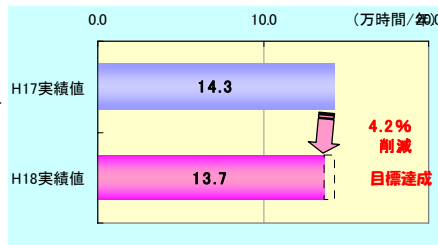
渋滞によって失われる時間「渋滞損失時間」の削減を図ります。



**H18目標** : 渋滞損失時間の削減

**H18実績** : 対策完了2箇所において、約0.6万時間/年の削減(4.2%削減)

H18年度は、渋滞箇所の解消、渋滞損失時間の削減のため、未整備となっていた渋滞ポイント15箇所重点的な整備を進め、2箇所事業が完了、4箇所一部完了しました。  
2箇所の事業完了により、渋滞損失時間は、**約0.6万時間/年の削減(4.2%削減)**となりました。



**H19** : 渋滞時間の削減を目指す目標

H19年度は、津久田停車場前橋交差点改良事業が完了する予定となっており、青柳交差点での渋滞が解消もしくは軽減されると期待されます。  
また、国道17号鯉沢バイパス整備の事業進行により、鯉沢交差点での渋滞解消が期待されます。

## ■ 自転車走行空間の確保

### ◇ サイクリングロード整備率(%)

群馬県で策定している自転車利用促進のための「サイクリングロードネットワーク計画」では、よりよい自転車走行環境の創設を進めており、このサイクリングロードの整備の促進を図ります。



事業継続中

**H18目標** : H18年度のサイクリングロードネットワーク計画の完成に向けて事業継続(H17実績: 1,496.2km中 901.1km整備完了(60.2%))

**H18実績** : 1496.2km中、964.5km整備(64.5%)

**H19** : 整備率70%を目指す目標 (将来的には100%を目指す)

平成19年度は、国道17号、18号、50号、254号、(主)桐生伊勢崎線、(主)大間々世良田線などで段差の解消等を進めるほか、自転車専用道路である利根川自転車道線の整備を進め、未整備区間531.7kmの早急な整備を目指します。

【サイクリングロードの整備事例】  
既存歩道の再整備



整備前

整備後

環境を保全し、豊かな生活を支援する道路整備



# 群馬の道づくり

## ■産業・観光の振興

### ◇幹線交通30分乗り入れ圏域の拡大(%)

新幹線駅または高速道路などのインターチェンジまで30分程度で到達可能な市町村数の増加を成果とします。

**事業継続中** H18目標 : 幹線交通30分乗り入れを目指し圏域拡大(H17実績:81.4%)  
H18実績 : 81.4%

平成18年度は、北関東自動車道、上信自動車、国道120号椎坂バイパス、(主)前橋長瀬線、(-)大原境三ツ木線等の整備を進めましたが、新たに供用開始となった区間がなかったため、指標は前年度から変化なく81.4%のままとなっています。



事業継続中の上信自動車道(国道145号)

H19 目標 : 北関東自動車道の伊勢崎IC以東の延伸により乗り入れ圏域を86%に拡大

【平成19年度に実施予定の主な対策事業】

道路名	事業の内容
北関東自動車道	伊勢崎C以東への延伸
上信自動車道	整備促進
国道120号	椎坂バイパス整備(沼田市)
(主)前橋長瀬線	バイパス整備(藤岡市)
(-)大原境三ツ木線	現道拡幅(太田市)



### ◇規格の高い道路の利用率の向上(%)

目的地により早く、確実に到達できる規格の高い道路が利用される割合の向上を成果とします。



H18目標 : 規格の高い道路の利用率向上を目指す(H17実績:10.6%)  
H18実績 : 10.8%

平成18年度では、新たな供用開始区間はありませんでしたが、平成17年度に比べ0.2ポイントの利用率が向上しました。

関越自動車道三芳PA・駒寄PAにスマートICが常設化されるなど、その効果が期待されます。



駒寄PAのスマートIC(関越自動車道)

H19 目標 : 大幅な向上を目指し、規格の高い道路の利用強化

平成19年度には利用率向上のため、北関東自動車道や関越自動車道では料金時間帯割引の社会実験を行い、規格の高い道路の利用促進を行うなど、高速道路等が利用しやすい環境整備を検討します。



地域の自立と  
個性を守る  
道路整備

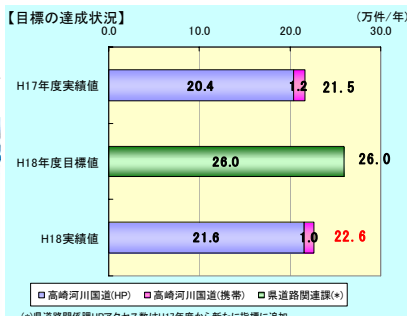
## ■情報の公開

### ◇ホームページアクセス数

群馬県や高崎河川国道事務所のホームページへのアクセス数の増加を成果とします。

**事業継続中** H18目標 : H17年度の20%増加(約26万件/年)  
H18実績 : 226,378件

平成18年度は、ライブカメラをリニューアルしたほか、「道のヒミツ2」を掲載するなど、県民の皆様によりやすい情報提供に努めました。



H19 目標 : ホームページアクセス・携帯アクセスともに平成18年度の約20%増加

携帯電話からのインターネット利用者がパソコンからの利用者を上回る社会状況下、出先などでリアルタイムに求められる情報は携帯サイトからの利用が便利であると考えられます。

今後の情報提供については、携帯サイトの充実を図ることを念頭に、道路利用者のニーズに沿った的確でわかりやすい情報提供について検討し、アクセス数の増加を図ってまいります。



情報の公開

# 群馬の道づくり



## ■H18目標値に対する実績とH19の目標値を指標毎に整理

さて  
どうなったかな～

方針	課題	成果指標(単位)	H17現況値	H18目標値	H18実績値	H19目標値	「道路見える化計画」との関係
県民の暮らしを守り、安心した暮らしを実現する道路整備	交通事故の削減	あんしん歩行エリアの整備(箇所) 歩行者及び自転車の安全な通行を確保する「あんしん歩行エリア」の整備とそれに伴う死傷事故の削減を成果とする。	16箇所 (着手14箇所)	16箇所着手し、あんしん歩行エリア内の死傷事故件数2割削減に向けて事業を継続する。	着手15箇所 ・完了7箇所 ・事業中8箇所 (事業継続中)	指定16箇所の整備を行いあんしん歩行エリア内の死傷事故件数の2割削減を目指す。	交通安全見える化プラン
		事故危険箇所への対策推進(箇所) 死傷事故が多発する「事故危険箇所」への対策推進とそれに伴う死傷事故の削減を成果とする。	174箇所 (着手156箇所)	着手165箇所(完了148箇所、一部完了15箇所)とし死傷事故件数3割削減への事業を継続する。	着手165箇所 ・完了140箇所 ・一部完了22箇所 (事業継続中)	指定174箇所の対策を行い事故危険箇所内の死傷事故件数の3割削減を目指す。	
		死傷事故率の減少(件/億台キロ) 1万台の自動車が行った場合に発生する死傷事故数の減少を成果とする。	144.7 件/億台km <sup>注1</sup>	死傷事故率の削減を目指す。	140.2 件/億台km <sup>達成</sup>	死傷事故率の削減を目指す。	
福祉の向上 医療・	総合病院30分到達 カバー圏域の拡大(%) 総合病院に30分以内に到達できるエリア(可住地面積に対する割合)の拡大を成果とする。	83.6%	カバー圏の拡大を目指し事業を継続する。	83.6% (事業継続中)	群馬県地方道路整備計画に定めた最終年次目標値85.2%を目指す。	—	
		環境を保全し、豊かな生活を支援する道路整備	渋滞の解消	渋滞箇所への対策推進(箇所) 渋滞箇所への対策を成果とする。	完了25箇所、一部完了20箇所、未整備15箇所	新たに、完了2箇所、一部完了1箇所への対策を推進する。	完了27箇所、一部完了24箇所、未整備9箇所 <sup>達成</sup>
渋滞損失時間の削減(万時間/年) 渋滞によって失われてしまう時間削減を成果とする。	対策完了予定2箇所の渋滞損失時間 14.3万時間/年	渋滞損失時間の削減を目指す。		対策完了2箇所において0.6万時間/年削減 (4.2%削減) <sup>達成</sup>	渋滞損失時間の削減を目指す。		
地域の自立と個性を守る 道路整備	産業・観光の振興	幹線交通30分乗り入れ圏域の拡大(%) 新幹線駅または高速道路などのインターチェンジまで30分程度で到達可能な市町村数の増加を成果とする。	81.4%	幹線交通30分乗り入れ圏域の拡大を目指し事業を継続。将来的に100%を目指す。	81.4% (事業継続中)	86% (将来的には、100%を目指す。)	—
		規格の高い道路の利用率の向上(%) 目的地により早く、確実に到達できる規格の高い道路が利用される割合の向上を成果とする。	10.6% <sup>注2</sup>	規格の高い道路の利用率向上を目指し事業を継続する。	10.8% (0.2ポイントの向上) <sup>達成</sup>	北関東自動車道の整備促進により将来的に大幅な向上を目指す。	
情報の公開	情報の公開	ホームページアクセス数(件/年) 国土交通省高崎河川国道事務所、群馬県道路関係課のホームページアクセス数の増加を成果とする。	216,526件/年 (HPアクセスのみ) <sup>注3</sup>	平成17年度の約20%増加(約26万件/年)を目指す。	226,378件/年 対前年度比0.5%増 (継続中)	ホームページアクセス・携帯アクセスともに平成18年度の約20%増加を目指す。	—

(注1)H17現況値は、H17実績値の確定値144.7件/億台kmを記載。平成18年度業績計画書のH17実績値は速報値142.3件/億台kmを記載。

(注2)H17現況値は、H17実績値の確定値10.6%を記載。平成18年度業績計画書のH17実績値は速報値10.4%を記載。

(注3)平成18年度の国土交通省ホームページカウンターが故障していたため、携帯アクセスをカウントから外した値で比較。